



＝特集＝

越生町の 自治体間交流事業

越生町は、平成29年4月26日に埼玉県朝霞市と「相互交流に係る覚書署名式」を行い、初めての自治体間交流をスタートさせました。その後、町政のさらなる発展を目的に、千葉県睦沢町、東京都豊島区、台東区とも交流を始めました。今回は越生町の自治体間交流事業について紹介します。

越生町が初めて自治体間交流を始めた相手が朝霞市。昨年4月に相互交流に係る覚書を交わしてから、越生の自然を堪能できる交流ハイキングの開催や、朝霞市最大のイベントである彩夏祭（関八州よさこいフェスタ・約9千発上がる迫力満点の花火など）へ招かれるなど、お互いの地域資源や特性を活かした交流をしています。また、電車でも車でも約1時間と、比較的近くに位置するため、スポーツ少年団を通じた両市町民の交流事業（サッカー）も実施しました。

11月25日に開催される朝霞市農業祭では今年も物産店を出します。みなさんもぜひ足を運んでみましょう。

お互いの特色を活かした交流

市の花
ツツジ

市の木
ケヤキ



H30		H29				年 月	内 容
	2	11	10	8	7	4	
24日 梅香るおごせハイキング大会（越生駅・越生梅林）	4日 北朝霞どんぶり王選手権に出場	19日 朝霞市農業祭に出店	7日 相互交流記念植樹祭（五大尊つつじ公園）	26日 スポーツ少年団交流事業（サッカー）	5日 新井町長らが彩夏祭に招かれる 都市間交流ブース設置	23日 朝霞市長らを越生まつりに招待	26日 朝霞市と越生町との相互交流に係る覚書署名式

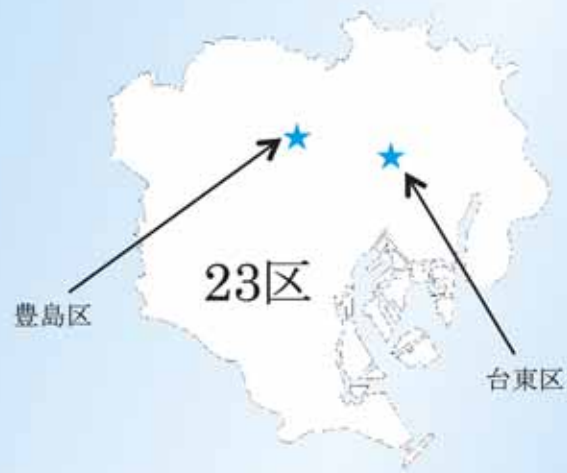
平成29年度
朝霞市との交流事業

区の花

豊島区：ツツジ
台東区：あさがお

区の木

豊島区：ソメイヨシノ
台東区：さくら



豊島区

東京23区の1つで著しい発展をとげている豊島区と埼玉県の自然が豊かな越生町。東武東上線で繋がっているが、異なる地域が交流すること、区町民の郷土愛を深め、知名度アップや観光客の増大など、様々な効果が期待されています。

ふくろ祭りに出店・五大尊のつつじを豊島区に移植

豊島区の大イベント「ふくろ祭り」。今年は10月6日・7日に行われます。越生町も池袋西口公園で行われる、豊島区友好都市観光物産展に出店します。

豊島区は、区の花に越生町と同じツツジを指定しているということで、7日には、越生町の五大尊つつじ公園のツツジを豊島区に移植する事業も行います。越生町で育ったツツジが豊島区で生長していく姿を見にいききたいですね。

交流アート展

越生町の文化祭では、豊島区民のアート作品を展示します。異なる地域で生活する人たちの感性を知る良



▲越生のツツジを移植予定の池袋本町公園

い機会です。ぜひ足を運んでみてください。

ソメイヨシノ植樹祭

「さくら」と言うと、多くの人が「ソメイヨシノ」を想像するのではないのでしょうか。駒込（豊島区）は、日本人に親しまれているソメイヨシノの発祥の地でもあります。

そこで、豊島区との交流事業の一環として駒込の苗床で育ったソメイヨシノを越生町に植樹する予定です。

この事業を通してさらに豊かになる越生町の自然。今後は、豊島区民のみならず、花と山々に囲まれた越生町を満喫してもらえるような交流事業を展開していきます。

台東区

台東区は東京都の特別区の一つです。越生町は、平成28年度から台東区のイベントに物産店を出して町のPRや特産物などを販売しています。

ふるさとPRフェスタ

台東区で開催されるイベント「ふるさとPRフェスタ」。全国各地から約20の地域が集まるイベントで、越生町は第1回から参加して、今年で3回目。訪れる人に越生の梅やゆずを知ってもらい、観光情報もお知らせしています。

また、平成30年1月には、区が開設した「ふるさと交流ショップ台東」で観光PRをするともに、梅やゆず製品を販売しました。



▲毎年ふるさとPRフェスタで越生をPRしています